

日蓮大聖人御書全集

くぼのあまごぜんごへんじ

窪尼御前御返事

あなりつ　こと

（阿那律の事）

新版
1976

くぼのあまごぜんごへんじ あなりつ こと

窪尼御前御返事（阿那律の事）

こうあん ねん がつ にち さい くぼのあま

弘安3年（'80）6月27日 59歳 窪尼

ほとけ みでし なか 阿那律 もう ひと 斛 飯 おう

仏の御弟子の中にあなりちと申せし人は、こくぼん王の

みこ 家 宝 満 ほとけ み弟子

御子、いえにたからをみてておわしき。のちに仏の御でし

てんげんだいいち 阿那律 さんぜんだいせんせかい ごらん

となりては、天眼第一のあなりちとて三千大千世界を御覧

ひと ほけきよう ざ ふみようにらい たも

ありし人、法華経の座にては普明如来とならせ給う。その

前 世 尋 稗 飯 ひと しゃくしぶつ

さきのよのことをたずぬれば、ひえのはん一つを辟支仏と

もう ほとけ でし 供 養 故

申す仏の弟子にくようせしゆえなり。

びくに 粟 早 稲 米 さんちゅう 送

いまの比丘尼は、あわのわさごめ山中におくりて、

ほけきよう

供養

たも

ほとけ

成

たま

法華經にくようしまいらせ給う。いかでか仏にならせ給わ

きようきようきんげん

ざるべき。恐々謹言。

ろくがつにじゅうしちにち

六月二十七日

窪

あまごぜんごへんじ

くぼの尼御前御返事

にちれん

日蓮

かおう

花押